

第38回会合

日時：2021年3月11日(木) 午後17時半から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者(順不同・敬称略)：20名(CVVメンバーのみ)

古田・川谷・先本・武・野坂・中垣・齋木・祝・鈴木・南荘・吉岡・田中・石原・栗田・島崎・夏秋・
荒武・黒山(以上会場参加) 清水・須賀(以上Zoom参加)
末宗克浩氏・島本恵梨子氏(地盤工学会関西支部幹事)

<配布資料>

- ① 11月19日定例会議事要旨(黒山)
- ② シビル・ベテランズ&ボランティアズ活動状況(5)(武)
- ③ 大和川沿いの橋梁&土木遺産見学会関連資料(野坂 他)
総括資料、地図、誉田八幡宮、玉手橋、大和側、築留二番樋、柏原市立歴史資料館、近鉄道明寺線
鉄道構造物群、新大和橋
- ④ 玉手橋への懸念(中垣)
- ⑤ 地盤工学会関西支部第11回若手セミナー開催報告(地盤工学会関西支部幹事)
- ⑥ 2021年度角倉了以の偉業見学会の提案書およびその関連の雑誌「シビル」記事(田中、栗田)

<主な議事>

古田代表からのあいさつの後、川谷幹事長からZoom設定(土木学会関西支部の協力)の経緯が説明された。その後、黒山が資料確認した。また、前回議事内容(資料①)が確認された。

主な議事は以下のとおり。

1. 11月定例会開催以降の状況説明(川谷)
 - 土木学会関西支部との関係について過去からの経緯を説明するとともに資料②作成の意図を説明した。
 - 会計担当について、齋木会員からの引継ぎを前提に来年度から石原会員に副担当を引き受けてもらったことを説明した。
 - 北海道の活動グループ、学会本部事務局、本部D&I委員会メンバー、関西支部シビルアカデミー関係者(北根准教授)、本部若手パワーアップ小委員会代表者とオンラインミーティングを2月8日に実施したことが報告された。
 - 学会本部との協定(インフラパートナー協定)について、事務手続き中であることを説明した。また、他の協定締結予定団体が紹介された。(川谷・黒山)
 - 他の団体との交流を進めてはどうか。(南荘)
 - 協定締結後全国の協定団体との交流会が開催される予定。(川谷)
 - 他の協定団体一覧をメールで紹介する。(黒山)
 - オンラインでの会合は有効である。(古田)
 - 土木学会関西支部からの助成金(30万円)は来年度も確定している。(黒山)
 - 学会助成金の会計締めを3月20日前後に実施するので、3月中に活動を予定している場合は早急に連絡が欲しい。(齋木)
2. 大和川沿いの橋梁&土木遺産見学会報告(野坂)：資料③参照
 - ホームページへの掲載内容について討議した。
 - ・ 現在ホームページには調査結果がすべて掲載されているが本日の資料と若干の齟齬があ

- る。(田中・栗田)
- ・ 浪速の名橋や京都市内の土木遺産調査との統一する必要はないと思うが、ホームページへの掲載スタイルについて工夫してもらいたい。(川谷)
 - ・ 浪速の名橋の掲載形式にこだわらなくても良いのでは。(南荘)
- 中垣会員が資料④を説明した後、本資料の取り扱いについて協議した。
- ・ 本橋の状況を CVV の名前を出さず(個人的に)管理者に伝えてはいかがか。別の自治体管理の橋で報告・提案した経験がある。(夏秋)
 - ・ 道路管理者も歓迎してくれるのでは。(古田)
3. 地盤工学会関西支部若手セミナー報告(地盤工学会関西支部幹事島本恵梨子氏)
- 地盤工学会関西支部幹事から資料⑤に基づいて若手セミナーの開催結果が報告された。
- 主な意見交換は以下のとおり。
- ・ 須賀会員から「画面共有できる PC が 1 台しかなく質問への回答の際講師が入れ替わる必要があったので可能なら複数台用意した方がよい」との意見があった。
 - ・ 会議資料を入手したいとの意見があるが。(川谷)
→過去から会議資料はレジメのみとする方針。
 - ・ CVV の HP に報告したいので参加者で協議して資料を作成願いたい。(田中)
→地盤工学会の報告と武会員がまとめた活動報告を使えば簡単にまとまるのでは。(南荘)
→須賀会員がまとめることとなった。
 - ・ 来年度の意向は。また、例年の参加者数は。(川谷)
→実開催とオンラインを併用したい。今年の参加者数は例年どおり。
→(支部長経験者として)若手セミナーの本来の趣旨から、ベテランの講演だけではないと考えるが継続してはと思う。また、集客面からオンラインを活用した方がよい。(南荘)
4. 新たな見学会の提案(栗田・田中)
- 資料⑥に基づいて角倉了以の偉業を辿る見学会案が説明された。また、大悲閣千光寺住職の協力が得られる予定との補足説明があった。(栗田)
- コロナ禍がもう少し落ち着いてからの方がよいのでは。(夏秋)
→秋に開催を目指すこととなった。なお、住職などの関係者には引き続き協力を依頼する。(栗田)
5. 東小橋小学校での児童いきいき放課後事業支援について(鈴木)
- 祝・石原会員とともに明日(3月12日)学校関係者と協議する。
6. その他
- 次回定例会は年次総会に併せて5月25日(火)17時半から開催する。また、オンラインとの併用を検討する。